

森と海をつなぐ植樹のつどい

海に恵みをもたらす森林を育み、その大切さを再認識する事を目的とした「森と海をつなぐ植樹のつどい」が、6月3日(火)、奥津地内の町有林で行われ、町内の林業関係者や県南の漁業関係者、奥津小学校の5年生など約80名が、ヤマザクラ、ヤマモミジ、ブナの苗、約250本を植えました。



7月8日(火)には、下草刈りも行われ、約50名の関係者が汗を流しました。

また、奥津小の5年生は、漁業関係者へ、海に関する質問をし、熱心に聞き入っていました。

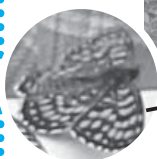


ウスイロヒヨウモンモドキ観察会

7月6日(日)、恩原高原において「ウスイロヒヨウモンモドキ観察会」が行われました。

ウスイロヒヨウモンモドキは、中国山地とその周辺に生息していましたが、近年、急激に減少し、生息していたほとんどの地域で絶命してしまいました。

この日は、ウスイロヒヨウモンモドキの他、ウラギンヒヨウモンやヒメシジミなどが飛び交う姿が観られました。



スポーツ少年団フットサル大会 リーグ戦

7月12日(土)、文化スポーツセンターでスポーツ少年団フットサル大会のリーグ戦が行われました。

リーグ戦は終了し、今後リーグ戦の結果によりトーナメント戦が行われる予定です。

2コートに分かれ13試合が行われ、子どもたちは、日ごろの練習の成果を発揮して果敢にゴールを目指していました。

